

平成19年度 市政懇談会意見・要望

本＝本庁(黒磯)、西＝西那須野支所、塩＝塩原支所

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/24	いきいきふれあいセンター	企画部	車座談議	車座談議の参加者と仕組みについて。	総合政策室	市内15の公民館単位で組織をつくり、それぞれの地域の課題や将来などを話し合うため、自治会長を中心に地域に呼びかけ、概ね30～40人と市職員6名で構成。組織の立ち上げはほぼ完了。具体的な活動についてはそれぞれの組織で議論中。
7/24	いきいきふれあいセンター	企画部	市政懇談会	市政懇談会の参加者が少ないが執行部の考えと他会場の現状は。	秘書課	日中と夜にかけて実施。日程については広報等で周知。自治会長、公民館長は主に昼間の部に参加を願ひ、一般の市民の方は主に夜間を対象としている。昼間は30～40名集まっているが夜の部は10名程度の参加者で少ないのが現状。市としてはもっと多くの方に参加して頂きたいと思っている。
7/24	いきいきふれあいセンター	企画部	市政懇談会	市政懇談会の参加者が少ないが、その効果についてどう思うか。	秘書課	初年度は15ヶ所。2年目は自治会長と一般市民を分ける。3年目の今年は回数を絞って呼びかけている。ただし期待しているほど集まっていないのが現状。
7/24	いきいきふれあいセンター	教育部	給食費未納問題	給食費の未払いの現状について。	教育総務課	未納対策として各家庭を戸別訪問や機会あるごとPRを行っている。未納額は約500万円。
7/24	いきいきふれあいセンター	教育部	教員の健康管理について	小中学校の教師が家に仕事を持って帰って働いていると聞いている。過労などによる休職者はいるか。また教師の健康管理の方法はどのような方法を取っていたのか。	教育総務課	書類を自宅へ持って帰る際には個人情報の漏洩などの問題を防止するため、校長の許可が必要になっている。しかし35人学級の実施、市採用教員による補充、2学期制の導入などにより深刻な問題ではないと考えている。また市内では心身症で休んでいる教員はいないが、ストレス性胃炎で休んでいる者は2名いる。勤務時間については部活時間終了後帰宅できるよう学校全体で事務のスリム化に取り組んでいるところである。
7/24	いきいきふれあいセンター	教育部	公民館	公民館の行事予定の表示が公民館の使用時間を表記している。行事の開催時間に改善できないか。	生涯学習課	行事の開催時間を表示するようにする。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/24	いきいきふれあいセンター	建設部	道路	道路(市道123号豊浦新堀線)や用水路などの補修のお願いと手続き方法について。	本道路課	現地を調査して後日回答させて頂く。(道路管理者としてできることは対応している。回答済)
7/24	いきいきふれあいセンター	建設部	道路	県道黒磯高久線と3・4.1本郷通りとの交差点の進捗状況について。	本道路課	18年度中に県で用地交渉をしたが解決していないところがあり、19年度も引き続き用地交渉を行っている。今年度用地交渉が終われば来年度工事が終わる予定である。
7/24	いきいきふれあいセンター	産業観光部	グリーンGREENの交通手段	板室温泉グリーンGREENへ町内会ごとにバスを出して欲しい。	本商工観光課	グリーンGREEN利用者の交通手段は多岐に渡るが、町内会ごとにバスを出すなどは難しい。ご理解を頂きたい。
7/24	いきいきふれあいセンター	市民福祉部	敬老会	自治会加入者で公民館に加入していない人が敬老会に来る方がいる。断ることもできず困っているが何かよい方法はないか。	本高齢福祉課	地区によって実施主体は異なるが、市としては公民館や自治会に入っていない方も招待してもらいたい。ただし実施主体が公民館で行うということであれば公民館に入っていない方は市で対応しなくてはならないと考えている。実施主体に加入していない方は高齢福祉課に連絡していただければ市から記念品を贈ることも可能である。
7/24	いきいきふれあいセンター	市民福祉部	シニアセンター	シニアセンターの利用方法について。	本高齢福祉課	介護予防施設として概ね65歳以上の高齢者の方が利用している。温水や機械を利用してトレーニングする施設がある。元気アップデイサービスで高齢者の「閉じこもり」の予防に努めている。また主に西那須野地区で実施しているいきがいサロンは地域で高齢者を集めて公民館に集めレクリエーションを行っている。今後黒磯、塩原地区に広げて行きたいと考えている。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/24	いきいきふれあいセンター	市民福祉部	生活保護	生活保護の実態について。	社会福祉課	生活保護の現状は450世帯650人おり年間約10億円保護費がかかる。ただし4分の3は国から補助が出ている。また、生活保護世帯は毎月調査し、被保護者が就労に結びつくようハローワークと連携している。今後も実施していきたい。
7/24	いきいきふれあいセンター	生活環境部	清掃センター	清掃センターでゴミを焼却した際に発生する熱を活用できないか。	本環境課	現在の清掃センターは熱利用できる施設になっていないが新たに建設する清掃センターは熱を有効利用し発電する仕組みになっている。
7/24	いきいきふれあいセンター	生活環境部	ポイ捨て	ポイ捨て防止の罰金条例を制定する考えはないのか。	本環境課	罰則付きの条例を即制定するというのではなく、広報活動を積極的に行い、モラルに訴える方法で周知して行きたい。
7/24	いきいきふれあいセンター	総務部	公共施設の利用について	公共職業安定所、NTT、職業訓練校などの施設を市で買取有効活用することができないか。	財政課	公共職業安定所の建物は、移転前の施設をと市で利用することを検討したが、国では財産処分という方針があり、市に譲ることはできないとのことなので断念した。NTTについては民間の施設のため現段階では判断しかねる。職業訓練校の施設は非常に老朽化していたため、県の教育委員会で取り壊し、黒磯高校のサッカー場として活用している。
7/24	いきいきふれあいセンター	総務部	人件費	合併について人件費などの行財政コストの削減状況について。	本総務課	事務事業を統一して職員数を削減していくことも合併の効果になっているが、本市でも職員適正化計画を作成し、平成17年4月1日の職員数950人を平成22年4月1日は904人に削減する予定を立てた。国の職員採用計画での4.6%の削減率を上回る4.8%で実施していく方向である。平成19年では計画上削減数は0人であったが既に23人減っている。また時間外勤務については平成17年の時間外手当ては118,000時間であったが事前命令簿の徹底により平成18年には95,000時間に時間外勤務が減った。今後さらに人件費の削減に取り組んで行きたい。

平成19年度 市政懇談会意見・要望

本＝本庁(黒磯)、西＝西那須野支所、塩＝塩原支所

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/24	いきいき ふれあい センター	総務部	ポイ捨て	散乱防止条例の周知徹底と市役所庁舎周辺にゴミ箱を設置してほしい。	財政課	現在は庁舎管理担当の職員が毎週月曜日に市役所周辺をゴミ拾いしている。またゴミ箱の設置については、ゴミは持ち帰るのが基本であると考えており、管理の面も含め今後検討していきたい。
7/24	いきいき ふれあい センター	総務部	補助金	約9億円ある市の補助金の見直しについて。	財政課	行財政改革大綱に基づく集中行財政改革プランの中では、公平性の確保や財源の効果的配分を目的として、平成19年度に見直し方針検討、平成20年度に検討組織を立ち上げ、市単独の補助金で運営補助金(団体設立後軌道に乗っている団体に交付している補助金)などについて見直すこととしている。